

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 25 年 8 月 5 日発行

8月の主な行事予定

8月7日（水）～8日（木）

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会（米子コンベンションセンター）

8月10日（土）

東伯郡小学校PTA運営研究会（まなびタウンとうはく）

8月28日（水）

中部地区人権教育懇談会（倉吉体育文化会館）

中部地区人権教育懇談会（PTA対象）

7/6（土）にPTAを対象とした中部人懇を開催しました。始めに、前成美地区公民館長の澤田豊秋さんに「学校支援ボランティアの取り組みを通して、一人一人を大切にするPTA活動や差別解消に向けた具体的な取り組み」について御講演いただきました。その後、グループに分かれ、「PTAや地域住民として子どもたちへ伝えていきたいこと」をテーマとして話し合いをしました。

【参加者の感想より】

- 「やりがい」、「感謝の心」、「つながり」、大切なものを育む取り組みとして澤田さんの講演は大きな示唆となった。
- 人任せにするのではなく、小さなことからでも行動していけるようにPTAとしても呼びかけていきたい。
- たくさんのボランティアや地域の方に助けてもらっている分、私も恩返しをしていきたいと思った。
- ボランティア活動をしてくださっている地域の方にまず私たちが感謝の気持ちを持つことで、子どもたちにもその気持ちが伝わり、「優しさ」が育つものと確信できた。
- 自分の得意なことを見つけて何か地域に貢献していきたいと思った。

【懇談会のまとめ】

澤田さんの講演から、地域にどのような活動団体があり、どんな活動されているのか初めて知ったという保護者もおられました。感想の中に、「ボランティア活動をしてくださっている方に対してどこか当たり前のように感じている」とか、「地域のことをよく知らない自分がいた」など自分自身を振り返るものが多かったように思います。あるグループでは、「学校で決まったことがPTAまでは伝わるが、地域には伝わらないため、地域の人から、児童や生徒への声かけに戸惑うと言われたことがある」という意見ありました。学校と保護者、地域が同じ情報を共有することで3者がつながりやすくなることや、情報を周知するための方法を工夫していくことが必要であることを感じました。講演やグループ協議を通して、この懇談会が自分たちができることをそれぞれのスタンスで考える機会になったのではないかと思います。（岸本）



地域、学校、公民館の関わりを考える

少子化や学校統合などで、「地域の中で子どもたちとの活動ができなくなるのでは」、「地域を活性化していくいい方法はないのだろうか」など様々な悩みを抱えておられる方もいらっしゃると思います。そんな地域住民や社会教育関係者の悩み解消に向けて皆さんと一緒に考えてみませんか。講師に鳥取短期大学長の山田修平さんをお招きし、地域における人と人をつなぐ取組についてお話をさせていただきます。また、パネルディスカッションでは、学校統合を行った湯梨浜町民の方や来年度統合をむかえる琴浦町の方に御登壇いただき、これからの地域活動について具体例を交えながらお話を伺います。この会は、統合のやり方ではなく、地域の活性化に向けて自分にできることは何かを考えていく研修会ですので多数の御参加をお待ちしております。参加を御希望の方は中部教育局社会教育担当岸本までお申込みください。

中部地区社会教育関係者研修会

人口減少時代における 地域、学校、公民館の 関わりについて考える



日時

平成25年9月3日(火)

13:30～16:10

会場

まなびタウンとうはく

(東伯郡琴浦町徳万266-5)

講演

「学校統廃合と社会教育の役割」
鳥取短期大学長 山田 修平 氏

パネルディスカッション

「人口減少時代における地域、学校、
公民館の関わりについて考える」

車で会場へお越しの際は、まなびタウン駅南駐車場をご利用ください。

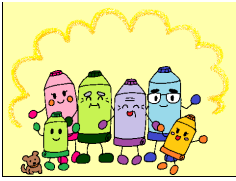


申込み先 鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当 TEL0858-23-3253 FAX0858-23-5203

主 催 鳥取県社会教育協議会

共 催 中部地区社会教育担当者会、鳥取県教育委員会

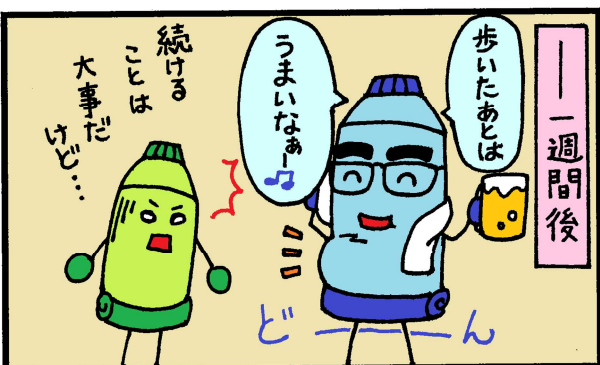
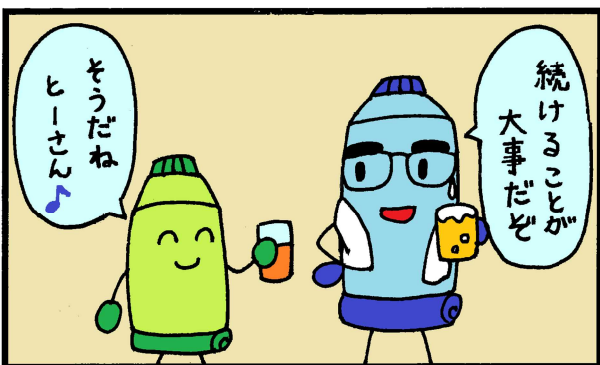
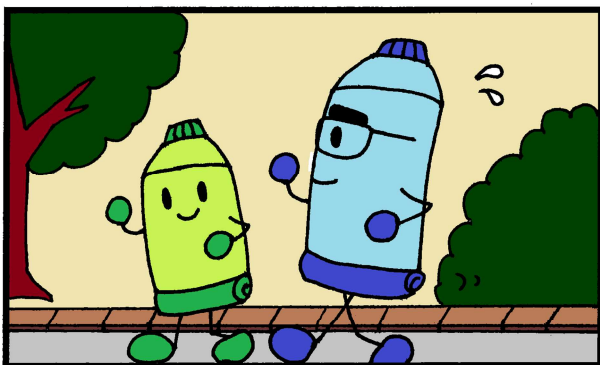
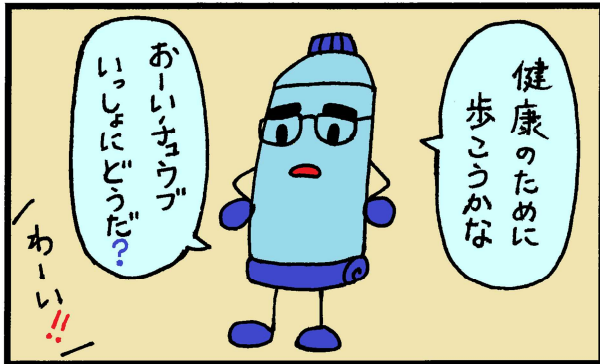
申込み期限
8/20(火)



公民館情報募集中！

中部教育局 HP 内の公民館ページをリニューアルしました。中部地区公民館関係者の方でお知らせしたい情報がありましたら、中部教育局の社会教育担当者まで御連絡ください。皆さんの情報共有の場にしたいと思います。よろしくお祈いします。

ちゅうぶくん



【リニューアルした公民館ページ】

【あしがき】

「続けることが大事である」、大人になってみてよく分かる言葉です。先日、娘の水泳大会を見に行きました。昨年の泳ぎと比べると無駄のないきれいな泳ぎをしていました。6月から1日も休まず放課後練習を続けたことに親ながら感心しました。一つのことを続けることで成果は様々なところに表れます。目に見える成果もあれば内面的な成果など。夏休みも前半戦が終了します。この夏、親も子も、何か一つは続けたと言える有意義な夏休みになるといいですね。

(岸本)

中部教育局 社会教育担当

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail kishimoto-r@pref.tottori.jp